

山本勘助関係の歴史

<参考文献> 山本勘助のすべて (新人物往来社), 豊川市史

年 号	山本勘助の動向	武田家の動向
1500年(明応9)	豊橋市賀茂町に生まれる。幼名「源助」	
1514年(永正11)	牛久保の牧野家家臣大林勘左衛門貞次の養子となり、名を大林勘助貞幸と名乗る。	
1521年(大永1)		・武田信虎の嫡男武田信玄が誕生
1525年(大永5)	武者修行に出る。高野山で摩利支天を受け、これをお守りとして四国、九州、山陽、山陰を巡遊し、毛利氏、尼子氏に仕える。戦法・築城について学ぶ。	
1534年(天文3)	大林家に帰る。同家に男子出生のため離縁し山本の姓に戻る(山本勘助)。三河を出て、従兄弟の庵原安房守を頼って今川義元に仕官を申し出るも受け入れられず。(9年間)他の訪問先、小田原の北条氏、鎌倉の上杉憲政、上州の倉ヶ野越中の守、信州の真田幸隆。	
1536年(天文5)		・信玄元服、武田晴信と名乗る
1537年(天文6)		・武田信虎と今川義元が同盟。
1538年(天文7)		・信虎と晴信父子の不和。
1541年(天文10)		・晴信が父信虎を駿河に追放。
1543年(天文12)	武田晴信より知行200貫を得て仕官。その後の活躍により100貫を重恩。	・武田晴信、信濃大井貞隆、望月一族を攻略。
1544年(天文13)		・武田晴信、伊那信濃に出兵する。
1545年(天文14)	信玄の命により高遠城を大改修する。	・武田晴信、諏訪衆の反乱を鎮圧。 ・山本勘助の進言で、諏訪頼重の息女を側室に迎える。
1546年(天文15)	武略をめぐらし、村上軍を撃退した功により、晴信、足軽50人、知行500貫を増。合計足軽75人、知行800貫。駿河国庵原氏のもとに5日滞在して甲府に帰る。(故郷に錦を飾る)	・晴信と諏訪頼重息女との間に、四郎勝頼が誕生する。
1550年(天文19)	信濃戸石城(上田市)合戦で軍功。	
1551年(天文20)	剃髪し「道鬼斎」と信玄から名づけられる。	・武田晴信、出家して信玄を称す。
1553年(天文22)	海津城築城(長野市)で軍功。	(1559年永禄2の説も)
1561年(永禄4)	第4次川中島の戦いで討死(62歳)	・武田方は、武田信繁(信玄実弟)も討死。